

今を変えれば! 未来は変わる!!

三戸地方保健所 水木 希^{のぞみ}

取組紹介

私は、保健師として県民の皆さまの健康づくりを推進する仕事に携わっています。

本県の平均寿命は、男女とも全国最下位となっており、生活習慣では、全国平均と比べて喫煙率、肥満者の割合、食塩摂取量が高いなどさまざまな課題があります。

そのため、県では、「健康で長生きな青森県」を目指し、一人ひとりが、健康に関する情報を適切に利用し、健やかに生きていく力である健やか力(ヘルスリテラシー)の向上に取り組み、自発的に生活習慣の改善を図ることができるよう、全県的な健康づくり運動を行っています。

当保健所においても、次の二つの取組を行っています。

取組1 空気クリーン施設の認証

受動喫煙防止のため、施設内を禁煙にしている事業所や飲食店などを訪問し、条件(灰皿がないこと、禁煙表示があること)を満たしている施設を「空気クリーン施設」として認証しています。認証した施設には、ステッカーを交付して、県民の皆さまが安心して施設を利用できるようにしています。

取組2 健康に関する相談対応

ご本人やご家族から、健康に関するさまざまな相談を受け付けています。相談内容に合わせて、家庭訪問や医療機関などにつなげる支援を行い、地域の皆さまの健康を守っています。

業務にかける思い

青森県は、働き盛り世代の死亡率が高いことが大きな課題となっていますが、近年では、企業が健康宣言を行い従業員の健康づくりに取り組むなど、官民を挙げた健康づくりの機運が高まっています。

私は、この機運をさらに高め、県民の皆さまが自分自身や周囲の方々の健康づくりに取り組め

るよう、地域の保健師として赤ちゃんから高齢者まで一人ひとりに寄り添い、今できることを一緒に考え、健康な未来に向けた支援を一步ずつ着実にしていきます。

「今を変えれば! 未来は変わる!!」。今後も、地域のつながりが強いという青森県の力を生かし、県民の皆さまや関係機関の方々と力を合わせて、健康で長生きな青森県を実現していきます。

◎詳しくは、県庁 HP
三戸地方保健所 ☎0178-27-5111(内線393)



水木 希/趣味の旅行では、知らない土地の人ともすぐに仲良し。「明るく笑顔で」をモットーに、県民の皆さまの健康を守ります!



面接相談の対応



空気クリーン施設の認証調査

取り組もう! 子育てにやさしい 職場環境づくり

人幸増加 大作戦!

平成 29年度青森県「企業子宝率」調査を実施しました

企業子宝率調査を実施しています

県では、県内の多くの企業・団体の皆さまが「子育てにやさしい環境づくり」や「ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭の調和)」への理解を深め、取り組んでいただくことを目的として、「企業子宝率」調査を実施しています。



平成28年度の調査結果

平成 28 年度に行った試行調査では、企業子宝率(平均)は、1.17となりました。同じく行ったアンケート調査では、仕事と子育てを両立するために重要なこととして、「職場の管理監督者・同僚の理解」が最も上位となりました。

平成29年度の調査結果を公表します

平成 29 年度に実施した調査結果を、平成 30 年2月末(予定)に公表します。約 370 社の企業・団体の皆さまからいただいた回答結果をもとに、企業子宝率の結果のほか、子育てにやさしい職場づくりについてのアンケート調査結果もご紹介します。

ぜひご覧いただき、あなたの職場でも取組を始めてみませんか。

◎詳しくは、県庁 HP
企画調整課 ☎017-734-9131

「企業子宝率」とは

「職場の子どもの産み育てやすさ」や「ワーク・ライフ・バランス」に関する一つの指標です。

従業員が在職中に持つと見込まれる子どもの人数を算出したもので、「企業の合計特殊出生率」とも呼ばれています。

※企業子宝率の算出方法や名称の使用権を含むすべての知的財産は、開発者である瀧美由喜氏に帰属しており、青森県の調査以外で自治体や企業等が使用する場合は、必ず瀧美氏本人から使用許諾を得る必要があります。

県産食材を学校給食へ!

県では、地産地消の取組の一環として、学校給食に県産食材を積極的に取り入れてもらうよう関係機関とともに取り組んでいます。

学校給食を支える人たち

岩木山麓などで大規模に野菜を生産する黄金崎農場では、「子どもたちに地元の野菜を食べてほしい」との弘前市の要望に応え、市内の給食センターへじゃがいもを供給しています。このことで、弘前市では年間を通して地元産が使われるようになりました。



野菜の集荷・配送

また、平川市では、「道の駅いかりがせき」の担当者が産直向けの地元野菜を給食センターに届ける取組が始まり、今後、取扱量の増加が期待されています。

子どもたちに伝えるために

給食の献立を作成する栄養教諭などを対象に、県産食材の生産現場や加工場を訪問し、生産に関わる人から苦労や思いを直接学ぶ研修会を行っています。栄養教諭からは「生産者や加工業者の地元食材へのこだわりを子どもたちに伝えたい」、「メニューに活用したい」などの声がありました。



ながいも栽培の説明を受ける栄養教諭

◎詳しくは、県庁 HP
総合販売戦略課 ☎017-734-9572